

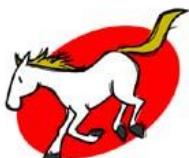
祝 創立75周年  
令和7年度1月号



# 咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



よく考え、チャレンジする年に

園長 北村 恵

令和8年度が始まりました。今年も園の教育保育にご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。3学期の教育日数は45日。あっという間に進学・進級の時期を迎てしまいそうです。一日一日を大切に3学期も子供たちと向き合っていきたいと思います。

今年の干支は丙午(ひのえうま)です。「丙午」には、マイナスのイメージの迷信があります。これは、江戸時代「八百屋お七」の歌舞伎で有名になった、主人公のお七が丙午の生まれだと言っていたことに由来するそうです。実は、本当に午年の生まれだったか定かではないそうですが、迷信を信じて60年前の丙午の年は、出生率が大きく落ち込みました。現在では、迷信ということが伝わっているので、今年の出生率予想は、そこまで落ち込まないとされています。

このように、良く分からぬことや定かではないことも、たくさん的人が伝えることで、いつの間にか本当の事のように信じられてしまうことがあります。現在、生成AIを利用すると本物のような写真や動画を作ることができ、分からぬことをChatGPTで検索するとすぐに答えが出てきます。けれども、実はChatGPTは、事実ではないことを答えることがよくあります。これから社会を生きていく上では、見たものや聞いたことをそのまま受け取るのではなく、「本当かな」と思って疑ってみたり、本や文献などを利用して別の方法で調べてみたりする力が重要になっていきます。

幼児期の子供たちは、見たもの聞いたことをそのまま素直に受け止めてなんでも吸収しています。そんな幼時期だからこそ「本当かな?もっと調べてみよう」と、さらに深く考える習慣づけや五感をフルに使うような本物体験を、幼稚園でもたくさん味わわせていきたいと思います。

実は、丙(ひのえ)という字には、大地から芽が出て葉が広がった状態という意味があり、「活発」「生命力にあふれる」など、太陽や火のような強いエネルギーを象徴しているそうです。このように炎のような情熱と勢いのある年には、これまで迷っていたことにチャレンジするとよいそうです。

子供たちにとっても保護者の方にとっても「やってみたい」と思ったことにチャレンジできる一年になるといいですね。幼稚園でも、子供たちの「やってみたい!」が実現できる環境や援助を今まで以上に心掛けていきたいと思います。